

学習会報告

後期音楽講座を終えて

2022.1.8



教材研究 「君が代」「仰げば尊し」
～教材の歴史を学び、今と未来を考えましょう～

新しい年を迎え、3学期に入り、卒業式も間近となってきました。そこで、今回は、入学式・卒業式で式次第にはいる「君が代」また「仰げば尊し」について、その歴史について学び、知ることをテーマにみんなで考えました。

○ はじめに 各自自己紹介と今学校で思うこと

○ 「君が代」についてのお話

高口先生から

（歴史 歌詞について 法制定後 仰げば尊し まとめ）

パワーポイントで、曲や現場での取り組みの経緯や歴史をわかりやすく学ぶことができました。また、知ることと、それについて自分の意見を持つことの大切さや、ひいてはそれが、教材や授業そのものに対する基本的な考え方につながるという心に残るお話がありました。

○ 「日の丸・君が代」 DVD を見て考える

井上先生から

法制化に至るまでの歴史を DVD で見ることができ、まず知ることができました。参加者の年齢の開きもあり、学生だった人、職場で悩んだ人など、みんなで当たり前のようにしている今を改めて感じることができました。



○ 感想・意見交換 まとめ

○ 今の悩み 現場で困っていること



学校現場のなかで、世代をこえて、いろいろなことを語り合うことが少なくなってきた今、私たちが子どもたちと向き合う中で、疑問に思うこと、わからないことについて、共に考え、共に悩み、そして自分の意見を持つことはとても大切なことだと思います。

今までなんとなく知っていたけれど、今日いろいろ勉強し、知ることができてよかった、と感想を言われた先生や卒業式や日の丸君が代について学ぶことから、日々の指導についてもう一度考え直すきっかけとなった先生もおられました。

私たちは、こんな時代だからこそ、これからも、学びの歩みを止めることなく、意見を交わし深め合っていきたい。そうすることが、子どもたちの笑顔を守り、決して戦場に送らないことにつながるように思います。

